

LH-904/LH-905取扱説明書

LH-904/LH-905

本セットは、扉厚13mm・スクリーン厚13mm、16mm、20mmで
ご使用頂けます。

扉厚13mmの場合 セットビスのM6×L14をご使用下さい。
スクリーン厚13mmの場合 セットビスのM6×L14をご使用下さい。
スクリーン厚16mmの場合 セットビスのM6×L16をご使用下さい。
スクリーン厚20mmの場合 セットビスのM6×L20をご使用下さい。
*使用するパネル厚が標準寸法に対して0.6以上薄い場合は、スペーサーで対応して下さい。
例、標準寸法：13に対して、使用するパネル厚：12.4の場合。

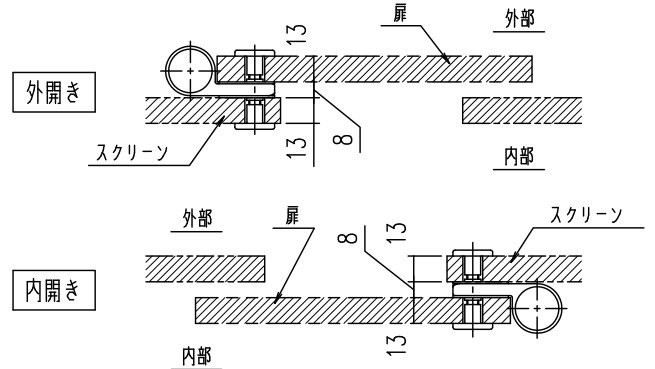
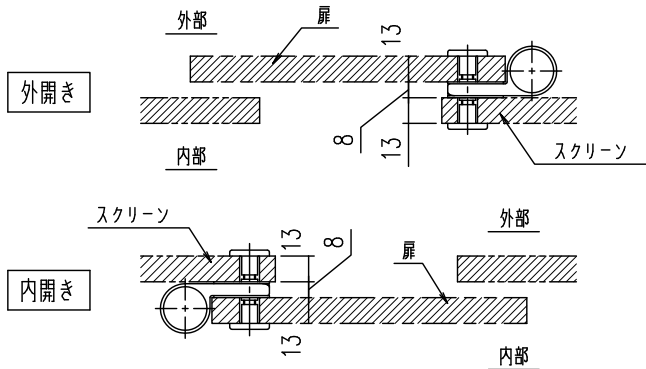
本セットのLH-904/LH-905は、グレビティヒンジの
下部ヒンジの差し替えて10°ずつの角度調整が可能です。

注意

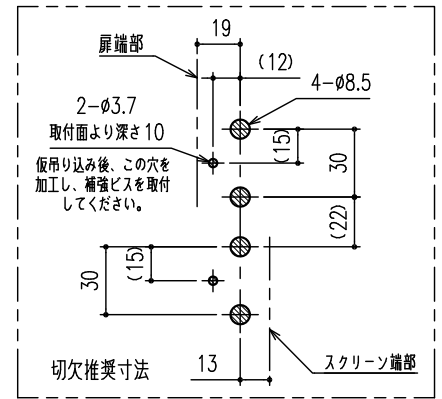
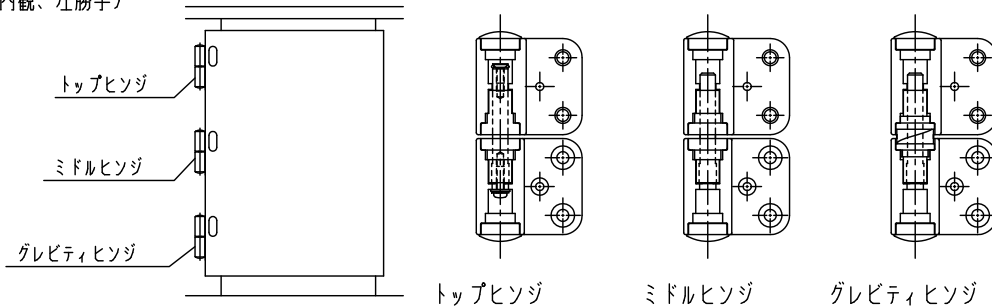
扉厚14mm以上の場合本セットでの使用はできません。
スクリーン厚14~15mmの場合は本セットでの使用はできません。
スクリーン厚17~19mmの場合は本セットでの使用はできません。
スクリーン厚21mm以上の場合本セットでの使用はできません。

LH-904 左勝手納り

LH-904 右勝手納り

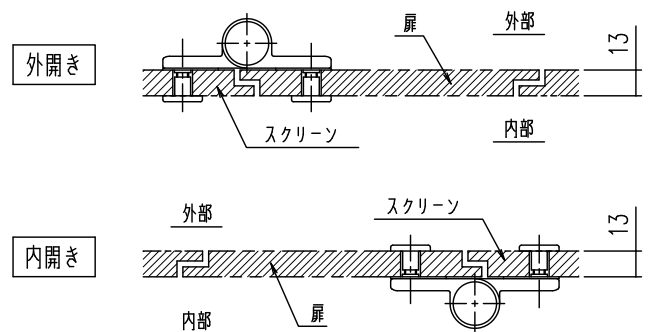
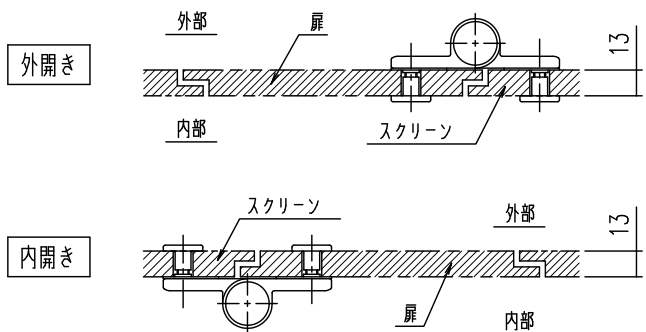


取付位置参考図 (内観、左勝手)

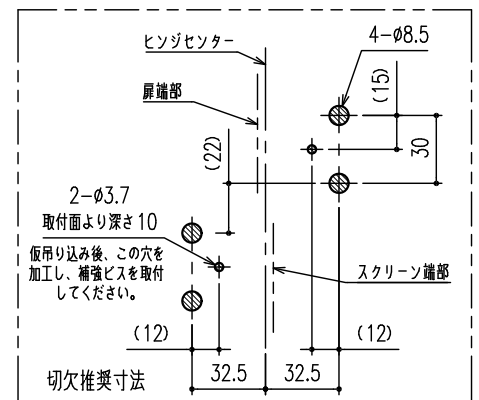
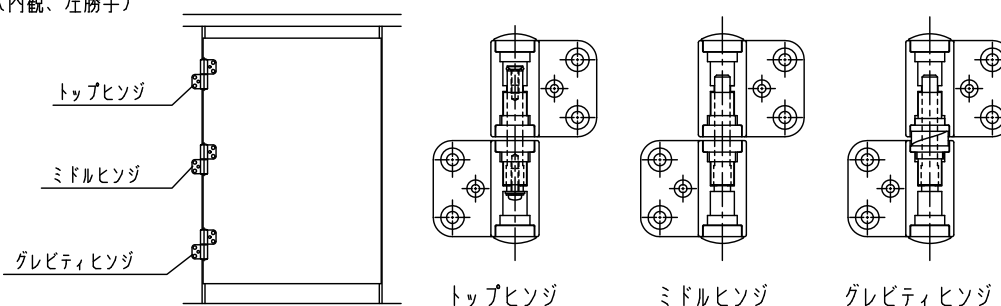


LH-905 左勝手納り

LH-905 右勝手納り

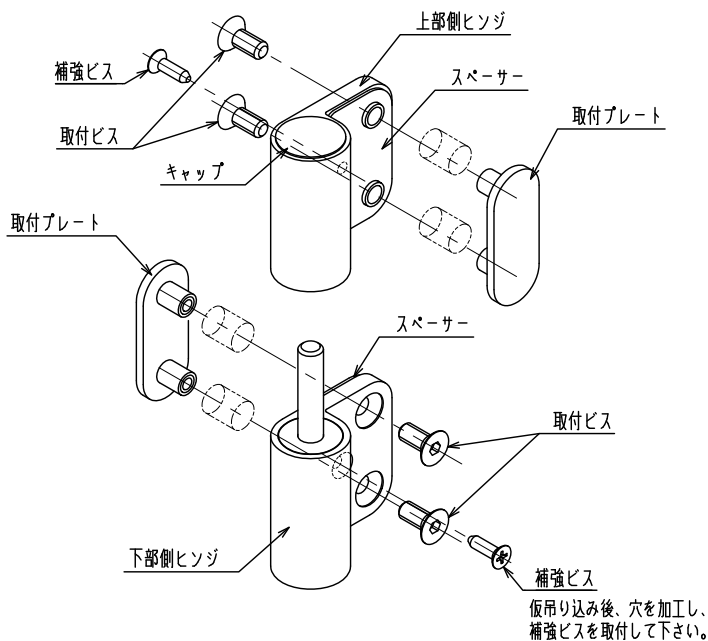


取付位置参考図 (内観、左勝手)



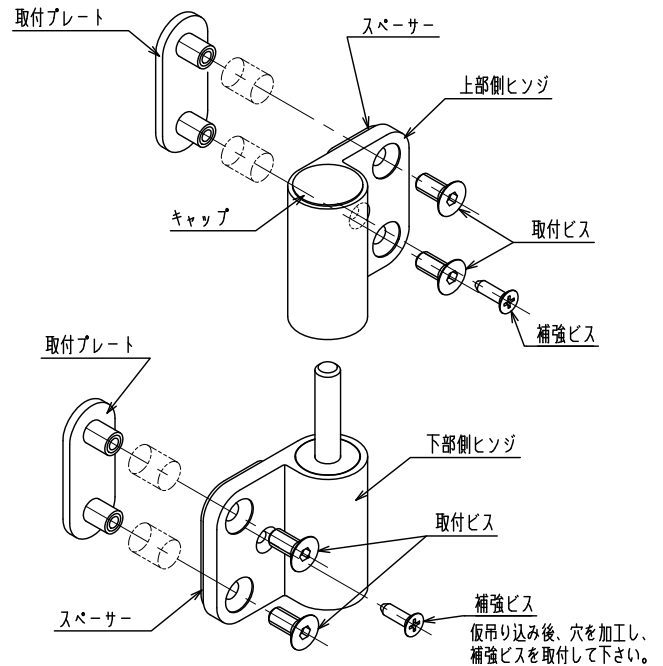
LH-904 取付方法

- 1) 扉、スクリーンへ切欠き貫通穴をあけて下さい。
【詳細寸法は裏面参照下さい。】
 - 2) 上部側ヒンジを扉へ、下部側ヒンジをスクリーンへ、各ヒンジ、スペーサーと取付プレートで挟み込み、取付ビスで固定して下さい。
予備のスペーサーは微調整に使用して下さい。
 - 3) 芯出しを充分確認の上、扉を吊込んで下さい。
 - 4) 補強ビスの下穴を加工し、補強ビスを取付して下さい。
 - 5) トップヒンジの上部より、プラスドライバーで抜け止めネジを締め込み、リングを押し広げて扉の抜け止めを行い、付属のキャップをセットして下さい。
詳細は下記「※LH-904/LH-905抜け止め方法」参照。
- 注) 部品が破損する為、抜け止めネジの締め込みにインパクトドライバーを使用しないで下さい。

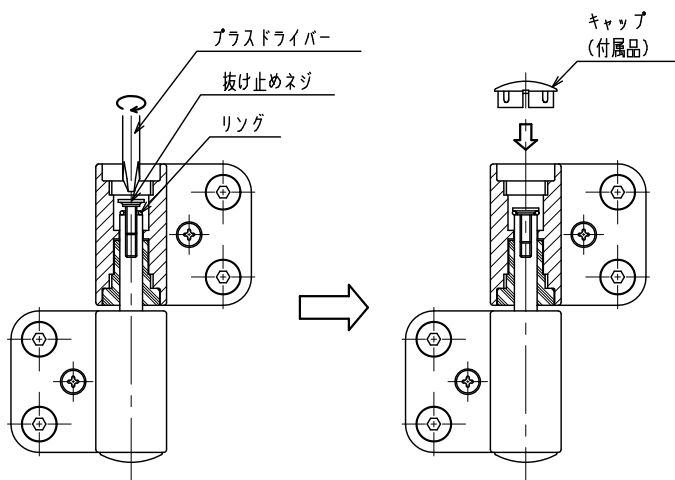


LH-905 取付方法

- 1) 扉、スクリーンへ切欠き貫通穴をあけて下さい。
【詳細寸法は裏面参照下さい。】
 - 2) 上部側ヒンジを扉へ、下部側ヒンジをスクリーンへ、各ヒンジ、スペーサーと取付プレートで挟み込み、取付ビスで固定して下さい。
予備のスペーサーは微調整に使用して下さい。
 - 3) 芯出しを充分確認の上、扉を吊込んで下さい。
 - 4) 補強ビスの下穴を加工し、補強ビスを取付して下さい。
 - 5) トップヒンジの上部より、プラスドライバーで抜け止めネジを締め込み、リングを押し広げて扉の抜け止めを行い、付属のキャップをセットして下さい。
詳細は下記「※LH-904/LH-905抜け止め方法」参照。
- 注) 部品が破損する為、抜け止めネジの締め込みにインパクトドライバーを使用しないで下さい。



※LH-904/LH-905 抜け止め方法



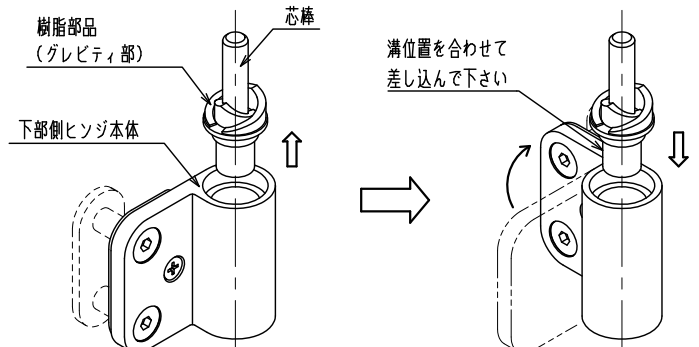
上部よりプラスドライバーで抜け止めネジを締め込み、リングを押し広げて抜け止めを行って下さい。

抜け止めネジの締め込み後、付属のキャップをセットして下さい。

- 注) 抜け止めネジの締め込みにインパクトドライバーは使用しないで下さい。
注) 扉を外す場合は、必ずトップヒンジの抜け止めネジを緩めてから行って下さい。

※LH-904/LH-905 角度調整方法

グレビティヒンジの下部側ヒンジの芯棒と樹脂部品（グレビティ部）を抜き取り、下部側ヒンジ本体の切欠き溝に合わせ10°ずつの角度調整を行って下さい。
抜くのが固い際は、芯棒にテープ等を巻き、傷がつかないようにペンチ等を使い引き抜いて下さい。



常閉納まりにて扉が閉まりきらない場合は、開まり方向に行き越して角度調整を行う事で解消可能です。

